

普通会員会費について

現在偕行社は、従前会員主体の組織から陸上自衛隊の退職幹部主体の組織へ変革の途上にあり、「新たな偕行社の構想」を鋭意検討中であり、その趣旨は今後とも安定的かつ長期的にこの偕行社を継続し、慰霊顕彰、安全保障研究に加え、わが国防衛の第一線で任務を遂行する陸上自衛隊の支援も第一義の活動とする組織を目指すことでもあります。

皆様ご案内のように、偕行社の

予算は平成29年頃から大幅な赤字予算を計上しております。令和3年度以降はこれらを改善するため、社屋の購入により賃借料をなくし、事務局職員の削減、給与の減額を断行して経費削減をしつつ、事業も最小限とするべく努めてきました。偕行社は、自衛隊のわが国における位置づけや自衛隊が各種行動を円滑に行える枠組み作りに貢献することを含め、厳選された事業に重点指向し、各地偕行会との連携を図りつつ、わが国の健全な発展に寄与できるよう元陸自幹部としての力を結集してい

きたいと考えています。

以上を踏まえ、この1年間、真剣な議論を重ねた結果、苦渋の選択ではありますがありますが、次のようにさせていただきます。ただきたいと考えています。従来の普通会員の会費による区分があったものをなくし、「普通会員」として一本化いたします。普通会員におかれましては5000円のご篤志をお願いいたしますと存じます。これは偕行社を支えるご寄付の意味合いをも持つものであります。

会員の皆様には、現下の偕行社の厳しい財政下、会員自らが支える偕行社という趣旨をご理解いただき、今後とも、充実した偕行社として一層の事業の推進を図っていくことができるよう、また、現役陸上自衛官たちが苦闘している任務遂行環境を少しでも改善し得るよう、自ら国防に身を投じ最も自衛隊の現状を知るという立場から、会員各位のご篤志による力強いご協力をお願い申し上げます。